

【トラブル相談窓口】

トラブルに巻き込まれたときの相談は

■警察相談ダイヤル #9110 ※ダイヤル回線や一部のIP電話からはつながりません。最寄りの警察署の相談窓口をご利用ください。
受付時間: 平日8:30から17:15まで(各都道府県の警察本部で異なります)

インターネット上のトラブルの相談は

■都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口
<https://www.npa.go.jp/cyber/soudan.htm>

■警察庁 インターネット安全・安心相談
<https://www.npa.go.jp/cybersafety/>

いじめにあったときの相談は

※IP電話など、一部の電話からはつながりません。

■24時間子供SOSダイヤル(文部科学省)
【電話】0120-0-78310(なやみいおう)

■インターネット人権相談受付窓口
(法務省)
<https://www.jinken.go.jp/>



■子どもの人権110番(法務省)
【電話】0120-007-110
受付時間: 平日8:30から17:15まで(土日祝日・年末年始を除く)

広告宣伝に関する迷惑メールやチェーンメールに関する相談は

■迷惑メール相談センター(一般財団法人 日本データ通信協会)
【電話】03-5974-0068 受付時間: 10:00~12:00 13:00~17:00(土日祝日・年末年始を除く)
<https://www.dekko.or.jp/soudan/>

その他相談・通報窓口(削除要請)・参考情報など

■セーフライン(一般社団法人 セーフラインインターネット協会)
<https://www.safe-line.jp/>

■安心ネットづくり促進協議会
フィルタリングサービスを利用する際、
また、スマートフォンやSNSを利用する際の
ルール作りに関する参考情報を掲載しています。
<https://www.kodomo-safety.org/>



■違法・有害情報相談センター
<https://ihaho.jp/>

もしものときのために家族で使い方を相談しておきましょう 災害用伝言板

申込不要・無料

震度6弱以上の地震など、大きな災害が発生した場合にスマートフォンやケータイで安否情報の登録・確認ができます。すべての携帯電話会社共通で利用できます。※下記のご利用方法はNTTドコモの場合です。※災害時専用サービスです。

伝言を登録

- ①dメニューのトップ画面から「災害用安否確認」を選ぶ
- ②画面が現れたら「安否の登録」を選ぶ
- ③メッセージしたい項目を選び、コメントを書き込む
- ④その画面で「登録」を選ぶ
- ⑤伝言の登録が完了

伝言を見る

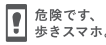
- ①dメニューのトップ画面から「災害用安否確認」を選ぶ
- ②画面が現れたら「安否の確認」を選ぶ
- ③相手の電話番号を入力
- ④その画面で「検索」を選ぶ
- ⑤伝言の検索結果が表示

携帯電話会社の「災害用伝言板」のご利用方法について詳しくはこちら

TCA 災害用伝言板

検索

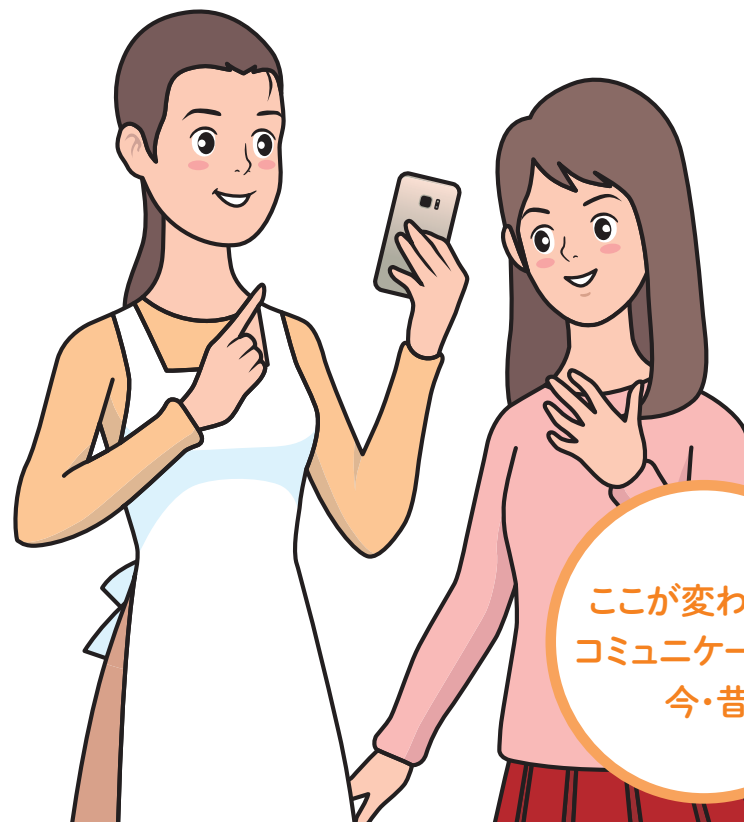
監修: 坂元 章(お茶の水女子大学副学長・教授) 制作アドバイス: 高橋 大洋(ビットクルー株式会社) ※掲載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。
©2022 NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.



本冊子の内容は2022年3月現在のものです。 株式会社NTTドコモ

保護者編

スマホ・ケータイ 安全教室



ここが変わった!
コミュニケーション
今・昔

子どもにスマホやケータイを使わせるにあたって 具体的に何をすれば良いんだろうと悩んでいるみなさまへ

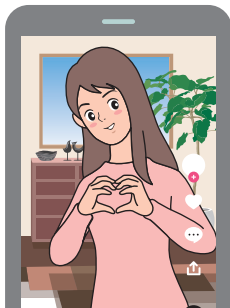
スマホ・ケータイNEWS

子どもたちにとって、インターネットを利用することは特別なことではありません。
さらに、スマホの利用率は年々上昇しており、高校生では90%以上となっています。

自分専用のスマートフォンでインターネットを利用していると回答した割合



内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」
(https://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_torikumi/tyousa/r01/net-jittai/pdf/sokuhou.pdf)をもとに作成



動画SNSで
不特定多数に
動画を公開したり



ライブ配信を介して
視聴者と交流したり

動画を使った アプリケーションが 人気になっています。

スマホアプリで撮影するだけで
動画を投稿できるようになるなど、
動画での情報発信の
ハードルが下がり、
見る側だけではなく見られる側へ
変わってきています。

スマホやケータイは生活の様々な場面で使われています。



スマホやケータイが便利なのは分かってる。でも、使わせることに不安もある。



では、何をすれば良いの…？

スマホやケータイは段階的に使わせ、 徐々にネットリテラシーを高めていくことが重要です。

スマホやケータイはインターネットにつながることで様々なサービスが利用できます。
今後ますます便利になるインターネットは、子どもたちの将来に欠かせません。
危険だから「使わせない」のではなく「上手に使っていく」ためのネットリテラシーを
高めることがとても大切なのです。

ネットリテラシー
とは？

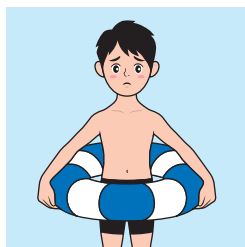
- ネットのコミュニケーション能力
- ネット検索で下調べする力
- 膨大な情報から取捨選択する力
- 個人情報などを管理し、守る力
- ネットトラブルへの対処力
- など

必要になってから、いきなり無制限で使わせるのは
深刻なトラブルに巻き込まれる恐れがあります。

だから

スマホやケータイを段階的に使っていくことで、
ネットリテラシーを高めましょう。

泳いだことのない子をいきなり海で泳がせるようなものです

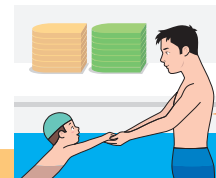


プールでも
泳いだことがない…



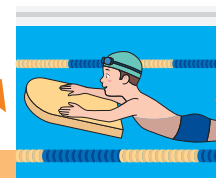
STEP-1

保護者といっしょに
使い始める



STEP-2

使ってもよい機能や
サイトを制限して使う



STEP-3

自分の責任で使う



段階的に利用させるために2つの対策が有効です。

対策
1

フィルタリングを活用しましょう

子どもたちにとって不適切なサイトやアプリにアクセスするのを
防ぐフィルタリングサービスを活用することで、
段階的にインターネットを利用させることができます。



対策
2

家庭でのルールを作りましょう

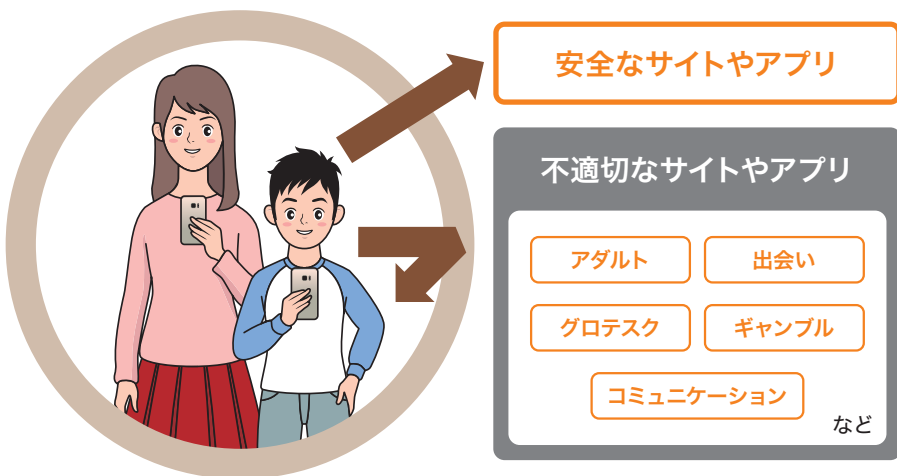
利用する時間・場所・目的、やりとりする相手の範囲など、
段階に合わせて、少しずつルールを見直しましょう。



フィルタリングを活用しましょう

フィルタリングサービスとは、子どもたちにとって不適切なサイトやアプリにアクセスするのを防ぐサービスです。

フィルタリングサービスの利用は青少年インターネット環境整備法でも規定されている保護者の責務となっています。積極的に利用しましょう。

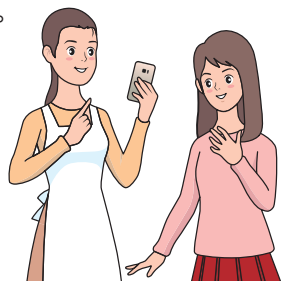


フィルタリングは調節しながら利用することができます。

フィルタリングはつけるかつけないかの2択ではなく、子どもの知識や能力、必要に応じて個別に調整しながら利用することができます。

活用のポイント

- 子どもとの話し合い
- 知識や能力、必要に応じた見直し
- 子どもに言われても安易に外さない など



フィルタリングには携帯電話会社へ申し込みが必要なもの①と、本体で設定する必要があるもの(スマホのみ)②③があります。

例えばドコモなら「①あんしんウェブフィルターなど」と「②あんしんフィルター for docomo」を用意しています。その他、iOSの場合は「③スクリーンタイム」も利用できます。

① 〈あんしんウェブフィルターなど〉でできること

- 有害サイトへのアクセスを制限(携帯電話会社回線での通信時)

② 〈あんしんフィルター for docomo〉でできること

- 有害サイトへのアクセスを制限(Wi-Fi通信時も制限可)
 - 各種アプリの起動を制限 ※Android™スマホの場合
夜間帯や学校の授業中など、保護者が設定した時間の起動を制限(曜日毎に30分単位で設定可能)
 - 学齢別の制限レベル ■保護者アカウント登録 ■歩きスマホを防止
- ※iOSの場合は一部利用できない機能があります。



学齢別の制限レベルを使用することで、
学齢にあったおすすめ設定が一括で、かつ自動でできます。

小学生	中学生	高校生	高校生プラス
スマホを初めて使う お子さまや操作に少し 慣れたお子さま向け	スマホの操作に おむね慣れた お子さま向け	スマホ利用のルールや マナー、危険性を理解した お子さま向け	SNS利用のルールや マナー、危険性を理解した お子さま向け
〈制限カテゴリ例〉 ゲーム、動画、音楽 懸賞、成人娯楽 SNS、掲示板 出会い、アダルト	〈制限カテゴリ例〉 懸賞、成人娯楽 SNS、掲示板 出会い、アダルト	〈制限カテゴリ例〉 SNS、掲示板 出会い、アダルト	〈制限カテゴリ例〉 出会い、アダルト

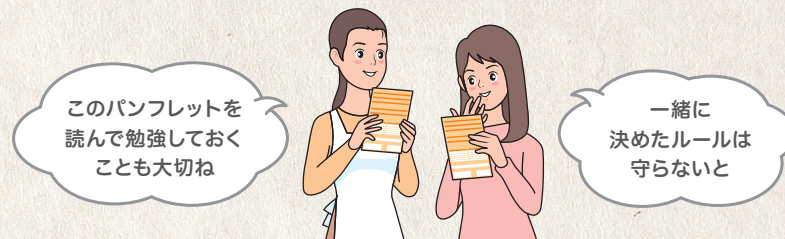
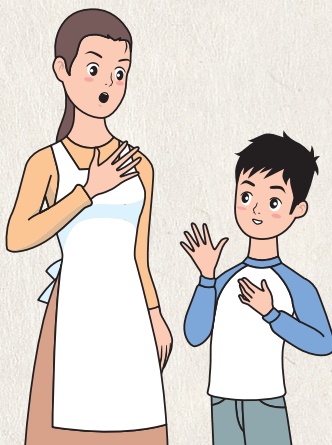
【その他の携帯電話会社提供のフィルタリングサービス例】
あんしんフィルター for au、あんしんフィルター for SoftBank

③ 〈スクリーンタイム〉でできること (iOSの場合)

- 成人向けWEBサイトを制限 ■各種アプリの機能を制限
- ※高校生プラス相当 ※iOS 12未満をご利用の方は「機能制限」をご利用ください。

家庭でのルールを作しましょう

フィルタリングは不適切なサイトやアプリに子どもたちが触れるリスクを軽減できますが、それだけではスマホやケータイを安全に使うことはできません。
 トラブルの多くは一般的な「道徳」や「常識」に反する行為によっておきており、
 家庭での方針に基づいたスマホやケータイを使うルールやマナーを守らせることが大切です。
 ネットは誰とつながっているか分からないといった「インターネットの特性」を踏まえ、
 「家庭でのルール作りのポイント」を参考に
 子どもと一緒に家庭でのルールを作ってみてください。



家庭でのルール作りのポイント

- 具体的でわかりやすいルールを作しましょう。
- ルールは押しつけず、話し合っ決めてみましょう。
- ルールが守れなかった場合どうするか事前に決めておきましょう。
- 子どもの知識や能力に応じてルールは少しずつ見直しましょう。
- 各家庭のルールについて話し合う機会を持ちましょう。

ネット上での代表的なコミュニケーションツール



SNSとは Twitter/Instagram/Facebook/TikTok など

- 「自分が今何をしているか」「どこに行ったか」など情報発信に使われることが多い。
- 公開範囲を設定することによって、閲覧者を制限できる。



コミュニケーションアプリとは LINE/+メッセージ など

- 1対1や複数の友達とグループを作ってやりとりができる。
- やりとりをしている人以外からは内容が見えない。

次のページから主なトラブル 事例を確認していきましょう。

ここが変わった!

子どもたちのコミュニケーション

昔

堂々と
面と向かって
クチゲンカ



今

クチゲンカ
あらそう相手
顔見えず

コミュニケーションアプリは、短い言葉でのやりとりが多くなるため、
細かな感情が伝わらなかったり、強い表現になったりすることで、
トラブルになることがあります。

仲のいいグループでの何気ないやりとりから、
トラブルに発展することもあります。

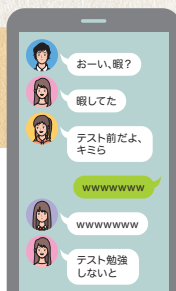


相手の状況や気持ちに配慮して、自分の思いが正しく伝わるかどうか
よく考えてやりとりするように教えましょう。
また、文字でのやりとりだけに頼らず、
会って話すことの大切さも教えましょう。



短い言葉でのやりとりが続きやすく、
その分誤解も生じやすくなります。

コミュニケーションアプリでは何十人というグループでやりとりする
こともあり、メッセージの流れが速く、その流れに追いつくために、
メッセージは短文で発信されるといった特徴があります。



相手の表情や声の調子がわからず、誤解がうまれやすくなります。



会話

表情や声の調子で
伝わる



電話

声の調子で
伝わる



文字でのやりとり

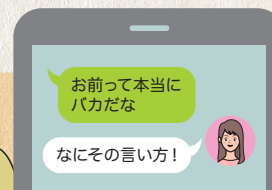
文字だけなので
伝わりにくい

大切なことは
会って話すと
解決すること
もあります。

お前って本当に
バカだなあ
ハハハ(笑)



思った事をそのまま文章にすると
強い表現になることがあります。



「既読」表示を意識しすぎると返信を急いだり、
相手の「即返信」を期待したりしてしまいます。

メッセージは即返信しなくてもいいなど、友達間でルールを作らせることが大切です。



ネットいじめは周囲の目が届かない閉じられたネット空間で
起きるため、発覚しにくく、エスカレートしやすくなります。

悪口などを書き込まれたら、まずはまわりの大人に相談させましょう。
場合によってはスクリーンショットなどで証拠を残しておきましょう。

ネットには
周りに止める
人は無し

ここが変わった!

知らない人との交流

昔

無理だった
友だち百人
できるかな



今

知らぬまに
友だち百人
できちゃった

インターネットは誰が見ているかわかりません。
普段、出会わないような人が接触してくる恐れがあります。
ハッシュタグを使って、悩みをもつ子どもに
巧みに接触してくる大人もいます。

【ハッシュタグとは】 SNSにおいて、特定のテーマについての投稿を検索して一覧表示するための機能。

「#○○」と日本語および英数字と組み合わせると、その記号付きの発言が検索画面などで一覧できるようになり、同じイベントの参加者や、同じ経験、同じ興味を持つ人のさまざまな投稿が閲覧しやすくなる。



子どもの交際範囲に注意を払うようにしましょう。
また、「SNSなどで知り合った人から名前や連絡先、住所や学校名を聞かれたり、会おうと誘われたりしたら、すぐに保護者に知らせる」というルールを徹底して守らせましょう。



ネットで知り合う相手は必ずしも本当のことを言っているとは限りません。

ウソをついて悪いことを企む人が必ずいることを伝えましょう。



ネットでは、相手の情報が限られているだけに相手を理想化したり、執拗に要求されると相手の要求に応えたりしてしまうことがあります。



自撮り写真など個人情報を送ることで弱みを握られ、脅迫されるなどの犯罪に巻き込まれる恐れがあります。



ここが変わった!

情報発信

昔

つぶやきは
周りの人には
聞こえない



今

つぶやきが
世界中に
聞こえてる

子どもたちは、公開している情報は匿名だから問題ない。
友達にしか送っていないから危険なことはないと考えがちです。
友達にしか送らなくても、その友達が別のグループに
情報を共有して広がってしまうこともあります。



インターネットは誰が見ているのか分かりません。
個人の特定につながる情報はアップしないようにしましょう。

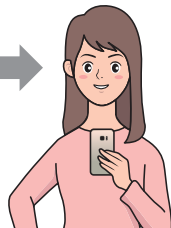


投稿された断片的な情報から住所や実名が特定される恐れがあります。



投稿からわかること

- 家は〇〇市〇〇3丁目18付近
- 顔の写真
- ゼッケンに書かれた名前
- 友達の名前と顔



本人や友達がそれぞれ投稿した情報を組み合わせることで、個人を特定できる場合もあります。

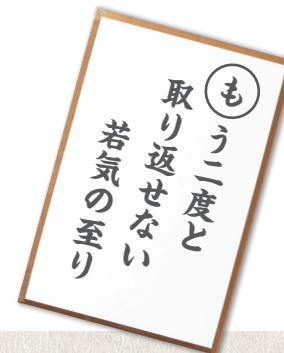
子どもが友達の情報を載せることで、友達が危険にさらされることも!



相手に下着姿や裸の画像を撮らせたり、自分で撮影して送ったりする『自撮り』での、リベンジポルノなどの被害が増えています。



相手のスマホやケータイに保存された画像はどのように使用されるかわかりません。インターネット上に広まれば完全に削除することは不可能です。たとえ恋人や友達でも、広く公開されると困る画像は送ったり撮らせたりしないように教えましょう。



ここが変わった!

ちょっとした冗談

昔

冗談は
笑ってゆるして
くださいね



今

冗談は
一切許さぬ
炎上だ

ちょっとした悪ふざけの動画などを公開することで
次々と転載されて、炎上してしまうことがあります。

一度、炎上をしてしまうと

取り返しのつかない事になる恐れがあります。



人にとがめられるような行動をさせないのはもちろん、一度炎上すれば
その影響が将来にわたって続いてしまうことを教えましょう。



ネット上で炎上してしまうと個人を特定され、
名前や住所が晒されたり、情報が拡散したりしてしまう恐れがあります。

過去の投稿から、
名前を特定できたぞ!
家の場所もわかった。

こんな事するガキには
世間の厳しさを教えてやる!



AAAA@xxxxxx
線路に侵入している
バカを発見!

〇〇〇@aaaaaa
線路を横断すれば、最短
ルートで学校に行けるぜ!



一度、炎上してしまうと、その事実を
完全に消すことができず、子どもの将来に
影響することがあります。

炎上すると、進学や就職に
影響することも

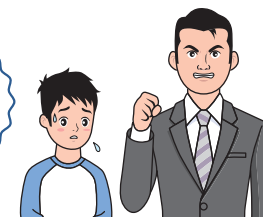


〇〇〇〇君
炎上少年〇〇〇〇君
の末路
https://aaaaaaa
線路に進入した写真をSNS
に公開して炎上した〇〇〇
〇君。
その後、名前や住所を特定
されてしまった末路をまと
めてみました。



未成年が行った軽はずみな投稿でも、罰を受ける場合があります。

損害賠償
の恐れ



逮捕
の恐れ

ここが変わった!

誹謗中傷

昔

誰だって
相手にしない
トイレの落書き



警察が
逮捕するかも
ネットの落書き

今

ここが変わった!

思わぬ情報流出

昔

通帳と印鑑
あれば
「本人」証明



①IDと
パスワードだけで
「本人」偽装

今



いたずらであっても悪質な書き込みは、罰せられる恐れがあります。

犯行
予告

ひみつ@?????
学校に爆弾を
仕掛けたぞ!

ひみつ@?????
明日○○通りで
人を殺してやる!



ひみつ@?????
○○ちゃん、万引き
してるんだって

ひみつ@?????
あの食堂、血洗わな
いで使っているらしい

ウワサ
デマ



匿名だからといって安易な投稿をすると罪に問われる場合があります。

誹謗
中傷



他人の
さらし行為



インターネットでは自分の知らないところで
気づかぬうちに情報が流出してしまう恐れがあります。

ID・パスワードの管理

ID・パスワードは個人情報のひとつです。他人には絶対に教えないようにしましょう。また、パスワードは他人に推測されにくいものにし、使いまわしは避けましょう。

不正アプリのダウンロード

アプリの中には、登録した情報を不正に利用するアプリもあります。安全性を確認してダウンロードしましょう。

無料Wi-Fiへの接続

無料でつながられるWi-Fiがあっても、安易に接続しないようにしましょう。悪意ある第三者に通信内容を見られたり、個人情報が盗まれたりする恐れがあります。

ウイルスの感染

スマホはコンピュータウイルスに感染する恐れがあります。ウイルス対策ソフトなどを活用しましょう。



ここが変わった！

使いすぎに注意

昔

テレビでは
親に隠れて
ゲームはできず



今

スマホでは
親に隠れて
ゲームごんまい

スマホやケータイはコミュニケーションツールやゲーム、動画など機能が豊富で、長時間使ってしまうがちです。

また、オンラインゲームでの高額請求などのトラブルにも、注意が必要です。

利用状況を把握することが大切です。



「使いすぎに気をつけなさい」と言う大人がスマートフォンを手放せないのでは説得力がありません。食事中など子どもにスマートフォンを使わせたくない場面では保護者自身もスマートフォンを遠ざけるなど、子どもの手本となるような付き合い方を見つけていきましょう。



スマートフォンでのネット利用の平均時間は、小学生で68.2分、中学生で133.5分、高校生では199.7分に。

スマートフォンでのネット利用時間平均

小学生	68.2分
中学生	133.5分
高校生	199.7分

内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」
(<https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/net-jittai/pdf/2-1-1.pdf>) (2021年2月1日に利用)をもとに作成



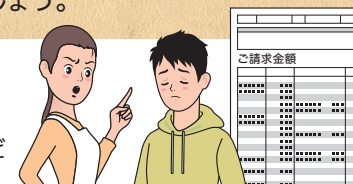
コミュニケーションアプリやスマホゲーム・動画サイトなどはやめ時が分からず、長時間利用につながりがちです。

コミュニケーションアプリ	■グループトークから抜けた後のやりとりが気になってしまう。
スマホゲーム	■時間をかけるほどレベルが上がる。■ゲーム内での名声を高めたい。
動画サイト	■関連動画が次々と表示される。



オンラインゲームなどでの高額課金に関するトラブルが起こっています。アイテム購入についてルールを決めましょう。

- アプリ内で年齢設定をしっかり行い、自由に課金できないようにする。
- クレジットカードは登録しない、使わせない など



ネットショッピングやSNSなどでの個人間売買では、トラブルがおきているので注意しましょう。

子どもによるインターネットでの商品購入は保護者監督のもとで行わせ、必要に応じて運営会社や公的な相談窓口なども活用しましょう。

金はもらうけどチケットは送らねーよ

このライブ絶対行きたい！



ここが変わった!

気をつけよう ルールやマナー

昔

右を見て
左を見てから
道わたる



今

前も見ず
スマホを見ながら
道わたる

歩きスマホやながらケータイが原因の事故が後を絶ちません。
また、他人の写真を無断でネットにアップする、
SNS映えする写真を撮るために周囲へ迷惑行為をしてしまう
といった事も起きています。



外出先などの公共の場で利用するときは
周囲の人に不快感をあたえず、迷惑にならないよう、
子どもたちにはルールやマナーを守る大切さを教えましょう。



スマホやケータイを操作しているときは視界が20分の1になると
言われています。周りの様子が見えづらくなったり、気づきにくく
なったりします。



歩きスマホやながらケータイは、迷惑行為です。
絶対にしてはいけません。

人にぶつかり、相手に怪我をさせれば、
損害賠償が発生する場合があります。



他人を無断で撮影したり、
ネットにアップしたりすることは
「肖像権」の侵害となることがあります。

たとえ
有名人であっても
同様です。

俺の顔が写ってる
じゃないか!



雑誌や漫画、動画などの作品を勝手に撮って使うことは「著作権」の
侵害にあたり、罪に問われることがあります。

アニメ

漫画

雑誌

TV番組

小説

絵画

